



2月の園だより

令和8年2月1日
ほづみ幼稚園

連日雪が降り寒い日が続いています。積雪となった日、子どもたちは笑顔いっぱい園庭に飛び出し、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、足跡をつけながら園庭を元気に駆け回ったりして大はしゃぎでした。まだまだ寒い日が続きそうです。雪は子ども達にとっては、特別な贈り物です。冬ならではの自然体験を思い切り楽しみ、これからも四季の変化や自然の恵みを感じながら元気いっぱいに過ごしていきたいと思います。

2月6日にはミラノ・コルティナ 2026 オリンピックが開幕です。世界で活躍する選手たちの姿に元気をもらえる季節となりました。体を動かすことで心も体もぼかぼかになります。園でも、子どもたちと元気いっぱい体を動かしながら、寒さに負けない体力づくりを大切にしていきたいと思います。

楽しい「保育参観：なかよし会」

もうすぐ2月の保育参観「なかよし会」です。幼稚園で生活してきた中で、一人一人がまたは、クラス全体が、考えたこと、工夫したこと、協力したこと、頑張って続けたこと、そしてそれぞれの表現を発表します。保育参観は、子供たちが活躍する晴れの舞台ですが、その裏側も見ていただきたいのです。友達と微笑み合ったり、自分なりの表現を楽しみながら友達と一緒に同じ遊びをしたり、友達と協力して準備をしたり、応援したり、その姿にクラスの一年がぎゅっと詰まっています。子ども達の築いてきた温かな雰囲気は保護者の皆様にも伝わると思います。お子様の成長、クラス皆で作上げた時間を皆様で応援してください。

「3つのやくそく」

- ・あいさつをします
- ・さいごまでやりぬきます
- ・やさしくします

機会あるごとに子供たちにお話ししてきた「3つのやくそく」。子供たちを見守る私たちが、この3つを生活の中で意識していると、子供たちの何気ない言動にも「気持ちの良い挨拶ができたね」「手伝ってくれてありがとう」「お片付け最後までやり抜くことができたね」など認める場が増えてきます。認めの言葉をかけることで、子供たちは喜びがわき「また頑張ろう・やってみよう」と意欲をもち、次もできたことで自信につながっていきます。そしてその積み重ねが「美しい心」につながっていきます。

1月にお願いしました保護者アンケートの中にも

- ・恥ずかしがり挨拶はあまりしていなかったけど、生活も友達にも慣れて、自分から挨拶ができるようになりました。
- ・あきらめようとすることもあります、声掛けで頑張る姿もみられます。
- ・自分のこともできるようになり、最近では弟の支度も手伝ってくれます。



など素敵な姿を紹介していただいています。今後も園と家庭とが協力しながら育んでいきたいと思っています。

「3つのやくそく」は、大人になっても人と関わる術として大事な事ばかりです。そのため私たち大人も日々「3つのやくそく」を意識して言動し子供たちに、素敵な姿を見せ続け、子供たちの小さな行為でも見逃さない心と目をもち続けたいです。

バスコースについてのお知らせ

令和8年度のバスコースは、黄バスコース2コース・かきバスコース2コースの計4コースです。令和8年度4月からのバス時刻表をスグールで配信しましたので、ご確認をお願いいたします。紙面では、2月2日（月）に配布いたします。バスコース変更後のバスバッチの色が変更になりましたら、園より配布させていただきます。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



節分



もうすぐ節分を迎えます。

園では、絵本を読んだり、鬼のお面を作ったり各棟に登場したぶらぶら鬼に新聞で作った豆で、鬼退治を楽しんだりしながら節分の行事に親しんでいます。

「鬼はいつ来るの?」「豆を投げたらいなくなるんだよね」と、いう声が聞かれる一方で、少しドキドキしている様子も見られます。

先日、年中さんが鬼のお面をかぶり職員室や、他のクラスに鬼になりきってやってきました。「ガオー」と部屋になりきって入ってきた鬼さん。新聞豆を投げると今度は「わあーいたいー」と逃げていく名演技! みんなが驚く姿にますますなりきりに磨きがかかった年中さんでした。

節分は、季節の変わり目に行う日本の伝統行事に親しむ大切な機会です。園では、豆まきを通して、友達や教師と一緒に取り組む楽しさを感じたり、自分なりに気持ちに向き合ったりする経験につなげていきたいです。

2月3日当日は、子供たちが笑顔で節分を迎えられるよう温かい会になったらと思います。



友達と活動することに「喜び」を感じる2月に

今、子供たちは運動遊びなどの体を使った挑戦を楽しむ遊び、お話の世界に入り込み想像の世界を楽しむ姿、遊びに必要な物を作り上げることを楽しむ姿などが見られます。

「あんなことがしてみたいな」「～になりたい」「仲良しのあの子と一緒にやりたい」など、わくわくした気持ちをもとに、遊びを広げています。そうした中で、力を発揮し『やったね!』の気持ちを友達や周りの人と共有していくことは、子供にとって大きな力になっていきます。

子供が望んでいることは、大きくいって2つあります。1つはやろうとしたことをのびのびとできる表現する時間があること。もう1つはそれを「なるほどね」「楽しいね」「うんうん」と受け止め共感してくれる人の存在です。共感のメッセージやプラスの言葉を受けることで子供たちは自分の力に自信をもち、大きく羽ばたいていくのだと思います。

2月18日(水)年中、19日(木)年少、20日(金)年長の保育参観では、『友達と共に活動する喜び』を感じられるよう「チャレンジ遊び」や「劇ごっこなどの遊びを中心に取り組んでいきたいと考えています。



～親子で絵本を読んでほかほか気分になろう!～

絵本でかける「ま・ほ・う」

子供との関わりの基本は「ま」(子供をまねる)、「ほ」(子供を褒める)、「う」(子供のうれしい気持ちと結び付ける)です。絵本を読む場面では、子供の発声・声をまねる、よく知っているねと褒める、絵本を介して一緒にいるうれしさを味わえるようにするなどが当てはまるでしょう。「まほう」は、子供が自分に自信をもつことにもつなげられます。絵本の時間、園でも、お家でも大切にしたいですね。